

## 国語 第3学年 書くことを考えるときは 検討会の想定問答

**指摘 1:** この単元で身に付けることは何か。

**返し:** 書く目的に合わせて経験や情報を集め、比較や分類で伝えたいことを選ぶ。材料を全部入れることをよい文章の条件にしない。B(1)アの学習として、材料カード、分類名、相手と目的、選んだ材料と選ばなかった理由。

**指摘 2:** 何をもって学習できたと判断するか。

**返し:** おおむね満足できる状況は、相手や目的を意識し、集めた材料を比較・分類して伝えたいことを明確にしているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。B(1)アの姿を本時の発言と記録に照らす。

**指摘 3:** 活動が楽しいだけで終わらないか。

**返し:** 材料カード、分類名、相手と目的、選んだ材料と選ばなかった理由を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、B(1)アに関わる学習の中身を確かめる。

**指摘 4:** つまづく児童にはどんな支援をするか。

**返し:** 思い付いた順に書き始め中心が曖昧になる、材料の多さだけを目標にする。これに対して、独自例として学校の場所を紹介する場合を考え、場所の特徴・利用方法・自分の感想を分類する。相手と目的を決めてから必要な材料に印を付け、未確認の事実は残して調べる。〔知識及び技能〕(2)イとB(1)アを切り離さず扱う。

**指摘 5:** 考えが違ったときはどう扱うか。

**返し:** 教師の結論を選ばせず、「この相手に一番伝えたいことに必要な材料は、どれですか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、B(1)アに関わる根拠を話し合う。

**指摘 6:** 本時の評価で態度まで決められるか。

**返し:** 本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

**指摘 7:** 端末がない学級でもできるか。

**返し:** 材料カード、分類名、相手と目的、選んだ材料と選ばなかった理由は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をB(1)アの評価の代わりにしない。

**指摘 8:** 時間が足りないとき、どこを残すか。

**返し:** 総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。B(1)アで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

**指摘 9:** この教材で、練習と使えるようになった姿をどう分けるか。

**返し:** 独自例として学校の場所を紹介する場合を考え、場所の特徴・利用方法・自分の感想を分類する。相手と目的を決めてから必要な材料に印を付け、未確認の事実は残して調べる。完成品だけでなく、材料カード、分類名、相手と目的、選んだ材料と選ばなかった理由。を見て、確かめ方と変えた理由を判断する。

**指摘 10:** 振り返りを感想だけにしないためには。

**返し:** 「この相手に一番伝えたいことに必要な材料は、どれですか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。B(1)アに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

